2022．07.07　文責：小林

　　　　令和4年度九州大学経済学部同窓会東京支部総会講演会懇親会参加報告

1. 日程：2022年7月7日（木）18：00-21：00
2. 場所：学士会館２１０号室
3. 式次第：
4. 総会　　　　　　　　　　　　　　　18：00-18：15
5. 記念講演会（鷲崎俊太郎准教授）　　18：20-19：10
6. 懇親会　　　　　　　　　　　　　　19：15-21：30
7. 出席者：来賓14名（大学関係者5名、全体事務局・他支部4名、他学部5名）

　　　　会員57名、総勢71名の参加者

他学部の構成は、東京同窓会会長櫻井龍子会長、法学部事務局小林、田中2名

農学部東京支部長、広島地区経済法学部同窓会事務局からの5名

1. 以下感想を記す
2. 来賓数が以外に多い、出席会員層が法学部に比しかなり若い層（特に昭和

50年代、平成卒の割合が高いと感じた。

~49年　　　　9名

50年―63年　　12名

平成1-30年　　24名

令和１-４年 　12名

1. 役員数33名　法学部の６０％　法学部理事会メンバー見直しが必要
2. 参加者の女性比率8名（11%）と少ない、櫻井会長含む数字
3. 支部長が秦善秋さんから伊東信一郎さん（元ANA会長）へチェンジ

事務局長が吉元利行さんからS63卒大坪勇二さんへチェンジ

支部長、事務局長若返りを図ったことが伺えた。

法学部の会長、事務局長は就任4年～５年程度のためもう少し先になりそう。

1. 講演会のテーマが、築地から見える都市経済史～江戸東京の今昔比較、

副題が、江戸の土地抵当利子率と住宅ローンの起源？

と称して50分間の講演でした。江戸時代の築地を中心とした沽券帳（登記簿）

の運用の仕方など大変興味深い印象に残る内容だった。

今年の法学部の講演会は河野俊行副学長によるものなので興味深い講演会になることでしょう。テーマ確認は今からします。9月理事会までには河野副学長

様から聞き出します。

1. 総会講演会会場と懇親会会場は隣接した会場で前者はパイプ椅子前向き、後者

は、９個のテーブルを配置して８～９名事前にひも付き方式を取っていた。

出席者名簿にテーブル席（立食）のアルファベット順に決めていた。

テーブルマスターを事前に決めて自己紹介の司会だけやってから各自の

ビュッフェ方式の食事を受け取りに出向く方式、コロナ対策は十分に取って

あったと思います。

法学部も総会講演会会場は経済学部と同じ方法で、懇親会は着席にするか

立食にするか今後理事会にて確定する予定。

今年は、若い世代を如何に出席して貰えるかがポイントです。少なくとも懇親会には出て欲しいと願っている。そのためには連絡網（LINE）を駆使しての

事前活動が必須と考えます。

1. 一緒に出席した田中博子次長談

（法学部東京同窓会からご祝儀（2万円）恒例により持参した　）

経済学部の七夕会には3年ぶりに参加させていただきましたが、前半の講演会はハイブリット開催ということでオンラインでの参加も受け付けるなど、ITを使った場作りを進めていらっしゃる点がとても印象的でした。元事務局長の吉元様にも伺ったところ、若手メンバーが中心となって取り組みを進めているとのことで、法学部としても今後見習っていきたいと感じました。法学部からの参加にもかかわらず、多くの同窓生の皆様と交流させていただき感謝しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上。